

内野・五十嵐まち協だより

第10号

発行 内野・五十嵐まちづくり協議会 発行日 令和元年8月

防災意識を高め、安心・安全なまちづくりを提案



内野・五十嵐まちづくり協議会総会・区政懇談会を開催

5月16日、2019年度の内野・五十嵐まちづくり協議会の総会と区政懇談会が開催されました。

区政懇談会では、笠原区長を含め関係部署の担当者、まち協の役員から、まち協を中心に内野エリアのさまざまな問題について考え、意見交換をする場所づくりが進んでいることが報告されました。

続いて、五十嵐二の町自治会長の周藤賢治さん(元新潟大学教授)が、専門の立場から内野エリアの防災体制の課題を説明しました。災害はいつ起こっても不思議はないこと、日頃から対策を考えておくこと、ハザードマップを絶対視しないこと、保育園・幼稚園など要災害支援者の安全を優先すること、行政と住民の防災意識を共有することの大切さなどを訴え、笠原区長も行政として力を入れていくと話しました。



続く総会では、平成30年度の事業報告と決算、2019年度の事業計画と予算などが発表されました。2019年度の事業はスタートしています(2~3面で紹介)。皆さん、どうぞご参加ください。

「うちのDE人文字in花見」 内野小グラウンドで200人が「うちの」の人文字

4月14日(日)。新潟西商工会青年部主催による「人文字制作イベント」が行われました。折しも、会場となった内野小学校グラウンドは満開の桜。内野小学校、西内野小学校、内野中学校の生徒や家族、約200人が参加して「うちの」の人文字をつくりました。

「平成から令和に変わることで、この時期に内野を元気にする企画をとということで、昨年末から青年部で考えてきました。当初は、参加者1000人を集める予定だったのですが200人。でも、立派な人文字ができました。これからも内野を元気にする企画を考えていきます」(新潟西商工会・平原 信行さん)



平成31年4月14日(日) うちのDE人文字 in花見 於：内野小学校グラウンド

うちのは元気だ！ うちのはきれいだ！



「内野一斉クリーンデー」(新潟市補助事業) うちのをきれいだ！ 1,360人が参加

ごみのない、きれいなまちづくりは地域の大きな課題。内野一斉クリーンデーもすっかりまちの行事として定着しました。まちづくり協議会に参加している自治会の皆さんが参加して、地域のゴミ拾いや草取りを行うもの。今年は6月2日～6月9日に行われ、1,360人が参加しました。

「うちのをきれいにといい言葉がまちに浸透していると感じます」(生活環境部長・児玉 哲夫さん)

銅版画展を有償ボランティアが応援 銅版画 猪爪彦一展

まちづくりセンターの年間行事としてすっかり定着した内野在住の画家・猪爪彦一さんの作品展。今回は4月18日から4月26日まで、銅版画を中心に開催されました。従来から、展示ホールの管理が課題になっていましたが、初めて有償ボランティア(4名)を起用、スムーズに開催することができました。次回は、11月に開催の予定です(まちづくり部主催)。



内野らしさを 輝かせたい

内野小学校PTA会長
徳山 啓輝さん(50)



学校、家庭、地域をつなぐのがPTA

……大友中央幼稚園長、特養老人ホーム新潟あそか苑長のかたわら、内野小学校のPTA会長もつとめる。幼児から小学生、高齢者まで一貫してフォローする仕事をしていらっしゃるんですね。

内野小学校に5年生の子どもがおり、PTA会長も3年目になります。内野小の児童は843人。新潟市内でも大規模校の一つです。内野の人たちの気質の中で育てられているせいか、みんな元気がいい。その「内野らしさ」を輝かせたいと思っています。

どこの学校にもPTAがあり、とかく父兄からの希望を学校に届けるのがPTAの役割みたいに考えられがちです。親が学校にサービスを求めるのではなく、学校、家庭、地域をつないで子どもたちが学んでいく環境をつくっていくのがPTAの役割なんです。

地域教育コーディネーターを置き、先生も一緒になってPTAの常任委員会を開き、子どもを取り巻くさまざまな問題について考えていく。内野小でとくに力を入れている「パートナー事業」という取り組みです。

わが子は自分で守ろう、地域で守ろう

……昨年の小針地区の事件や交通事故、虐待など、子どもを取り巻く環境も複雑になっていますね。

私たちがいま力を入れているのは次の3項目です。

①通学路の安全確保

当校時間はほぼ決まっているけれど、児童によって下校時間はまちまち。子どもたちをすべてフォローするのは不可能。人任せにするのではなく、わが子は自分で守ろう、地域で守ろうが基本的な考えです。

②内野小学校の環境整備

内野小には150年の歴史があり、広いグラウンドを持ち、緑が多い。こんな学校はほかにありません。逆に言えば管理が大変だということ。緑豊かで子どもが安心して遊べるよう環境整備をやっていきたいですね。

③地域への要請の受け皿になる

5月25日に行われた今年の運動会では、地域の方々がまとまって応援席のテントを張って下さいました。晴天に恵まれ大成功。評判になりました。学校行事にも積極的に参加し、学校が地域にお願いしていただくの受け皿になることをめざしていきます。

子どもたちは生きていく。でも学校の中だけに正解があるわけではない。子どもは地域の宝。みんなが一緒になって命を大切に育てていくことが大事ですね。

とくやまけいき:昭和44年、西区大友生まれ。2年前から内野小学校PTA会長。社会福祉法人敬真会の理事として大友中央保育園長、特別養護老人ホーム新潟あそか苑長をつとめている。



役員改選で、新任の役員が承認されました

5月16日の総会では役員の改選が行われ、承認されました。

- 再任……田村 信雄 会長
塩川 英男 副会長
- 新任……小泉 利男 副会長
小林 正幸 防災防犯部長



副会長
小泉 利男



防災防犯部長
小林 正幸



上皇さまの足跡を語り継ぐ記念碑移設

5月25日、新川西川水路橋付近のミニ公園に、上皇さまが皇太子時代に視察に訪れたことを伝える記念碑が移設されました。上皇さまは、昭和31年7月に内野を訪れ、新川と西川の立体交差を見学されました。ご成婚を祝して記念碑が建てられましたが、その後は新川河口排水機場で保管されてきました。

令和に改元され、来年、新川開さく200年を迎えることから、「越後新川まちおこしの会」が移設を企画しました。当日は中原市長や関係者、地域の人たち50人が出席して除幕式を行いました。地域の名所として再認識され、まちの活性化につながればいいですね。



● まちづくり協議会 2019年度予算支出内訳

平成30年度決算	事業費	1,459,559
収入 2,619,187	役員手当	256,000
支出 2,296,771	賃金	70,000
繰越 322,416	旅費	20,000
2019年度予算	消耗品費	172,000
収入 2,730,000	会議費	100,000
支出 2,730,000	役員交際費	80,000
	予備費	572,441
	合計	2,730,000

● まちづくりセンター管理運営費

平成30年度決算	2019年度予算
収入 5,899,667	支出内訳
支出 3,970,706	人件費 560,000
繰越 1,928,961	管理費 1,700,000
2019年度予算	事務費 2,100,000
収入 7,060,000	その他 2,700,000
支出 7,060,000	合計 7,060,000

● 指定管理料

平成30年度決算	2019年度予算
収入 5,738,336	収入 5,749,439
支出 5,572,897	支出 5,749,439
繰越 165,439	

● 市民大運動会

平成29年度決算	2019年度予算
収入 898,450	収入 898,450
支出 0	支出 898,450
繰越 898,450	

2019年度 事業計画

- 年3回 まち協だより
- 毎月第1・3水曜日 虹の部屋
- 年4回 高齢者の集い
- 4/18~4/26 } 郷土の画家 猪爪彦一 絵画展
- 11/7~11/17 }
- 6月~9月 防犯パトロール
- 6/9 内野一斉クリーンデー
- 7/15 海岸清掃
- 7/27 うちのDEビアガーデン2019
- 7/27 内野盆踊り大会
- 8/6 夏休み子ども映画劇場
- 8/10~8/17 内野2019新川ほたる

- 8/23 映画鑑賞会
- 9/15 内野まつりカラオケ大会
- 9/24~10/3 2019光と海の写真展(仮称)
- 10月 避難所誘導訓練
- 10月 講演会
- 10/5~10/12 内野2019新川ほたる写真展
- 10/19~10/27 佐々木呼雲 陶芸展
- 11/9 利用団体代表者会議
- 11/10 うちのDE月見酒2019
- 11/16 第2回うちの新川音楽祭
- 12/10~1/20 2019光のパフォーマンス
- 12月 カレンダー作成

編集後記

簞笠、てんで持ち

子どもの頃、夜、寝るときは脱いだ衣服は畳んで枕元に置いたものです。母親からは「簞笠、てんで持ち」と教わっていました。暗闇の中でも服を着て、てんで勝手に逃げると。火事や津波を想定しての言葉だった

のでしょう。集中豪雨や地震のニュースのたび、昔からの教えが普段の生活から希薄になっているのを感じます。いざというときは、自らが責任をもって逃げる。内野でも大切な教訓だと思います(古俣慎吾)。